

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
ブ3	『生写朝顔話』初演時の番付	資料					①天保3年1月
	院本雑話 (七)かざみと斗為吟	参考	狂綺堂		演芸世界	第2号	①明治34年4月 ④演芸世界社
	朝顔日記 宿屋の段	註釈	蓼沼祐太郎・山沢簡		義太夫難句詳解		①明治37年2月 ④田沼書店
	増補生写朝顔話 * 浜松の段に就いて * 笑葉の段に就いて * 宿屋の段に就いて	解説	竹本其太夫	鶴沢名門二	浄曲/百段語り物の訳		①明治39年4月 ④其中堂書店
	堀江座見物素人評	劇評	中村商海史・中村柳 雨子		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第50号	①明治39年9月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治39年6月堀江座所演
	名流談海 (第七回) * 朝顔日記と長崎文学	研究	伊原青々園		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第69号	①明治41年10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社
	堀江座六月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第77号	①明治42年7月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治42年6月堀江座所演
	朝顔日記の実説	参考	熊谷無漏		実説文庫	第2篇	①明治44年7月 ④朝陽社
	七月の文楽座	劇評	馬脚生		演芸倶楽部	第1巻 第5号	①大正1年8月 ④博文社 ③大正1年6~7月御霊文楽座所演
	第二種 生写朝顔話 浜松小屋の段・笑葉の段	梗概 批評	徳島県教育会		義太夫調査書		①大正2年4月 ④徳島県教育会 ③増補改訂版が大正2年7月に刊行
	第三種 生写朝顔話 宿屋の段						
	文楽座六月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第132号	①大正3年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正3年6月御霊文楽座所演
	御霊文楽座 (大正3年6月18日)	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」(大正篇)刊行 会 ③大正3年6月御霊文楽座所演。 「毎日新聞」より転載
	御霊文楽座 (大正4年6月1日)	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」(大正篇)刊行 会 ③大正4年6月御霊文楽座所演(短 評)。「毎日新聞」より転載

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽座六月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第144号	①大正4年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正4年6月御霊文楽座所演
	御霊文楽座（大正5年6月1日）	劇評	無憂樹		義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正5年6月御霊文楽座所演（短評）。「毎日新聞」より転載
	文楽座六月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第156号	①大正5年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正5年6月御霊文楽座所演
	近松座六月興行（双調會）						③大正5年6月近松座所演
	文楽座の稽古日	記録	一記者		新演芸	第1巻 第5号	①大正5年7月 ④玄文社 ③大正5年6月御霊文楽座の稽古風景
	増/補生写朝顔話	研究	翠松園主人		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第161号	①大正5年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③解説・「宿屋」の語釈あり
	竹豊座の朝顔話	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第170号	①大正6年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正6年6月京都竹豊座所演
	御霊文楽座（大正8年9月26日）	劇評	玖琉盤		義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正8年9～10月御霊文楽座所演。「朝日新聞」より転載
	御霊文楽座（大正11年9月15日）	劇評			義太夫年表 大正篇		①昭和45年1月 ④「義太夫年表」（大正篇）刊行会 ③大正11年9月御霊文楽座所演（短評）。「毎日新聞」より転載
	盆替の文楽座を聴く	劇評	面壁入道		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第216号	①大正11年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正11年9月御霊文楽座所演
23、152、 218、プ3、 300、398	増補生写朝顔話 四段目切 宿屋の段	演出	杉山其日庵（茂丸）		浄瑠璃素人講釈		①大正15年11月 ④黒白発行所 ③昭和50年3月鳳出版より復刻

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
618			近世文芸研究叢書刊 行会＝編		近世文芸研究叢書 第二 期芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山 其日庵『浄瑠璃素人講釈』を収録
			杉山其日庵＝著／内 山美樹子・桜井弘＝ 編		浄瑠璃素人講釈	(下)	①平成16年11月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈・解題・解説・ 人名索引付載
	朝顔の話	解説	木谷蓬吟		道頓堀	第10号	①昭和2年6月 ④松竹合名社
	朝顔日記考説―歌舞伎と練りとの関係― 弁天座の文楽六月興行を評す	研究 劇評	高谷伸		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第261号	①昭和2年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和2年6月弁天座所演
	十月の文楽座	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第274号	①昭和3年10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和3年10月弁天座所演
	津太夫の「吃又」	劇評	石割松太郎		演芸月刊	第14輯	①昭和5年7月 ④演芸月刊社 ③昭和5年7月四ツ橋文楽座所演
	文楽七月興行の朝顔	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第293号	①昭和5年7月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和5年7月四ツ橋文楽座所演
	文楽座八月評	劇評	たかきや生		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第304号	①昭和6年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和6年8月四ツ橋文楽座所演
	文楽人形/浄瑠璃合評 *好景気だった文楽	劇評	安部豊		演芸画報	第27年 第8号	①昭和8年8月 ④演芸画報社 ③昭和8年7月東京東京劇場所演 (短評)
	第二編 人物と芸格 一、弥太夫の人と芸と 四、温厚と厳正 六、どんな端場でも 九、驚き入った『つらだましひ』	芸談	木谷正之助(蓬吟)	竹本角太夫 (5)竹本 重太夫) (7)竹本源 太夫 (7)野沢吉 兵衛	五世竹本弥太夫 芸の六 十年		①昭和9年10月 ④私家版 ③(5)竹本弥太夫の「笑い葉」
	文楽座人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第29年 第8号	①昭和10年8月 ④演芸画報社 ③昭和10年7月東京明治座所演(短 評)

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	七月の文楽評	劇評	金光明川		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第341号	①昭和10年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和10年7月東京明治座所演
	吉田扇太郎丈の長逝を悼みて	芸評	鴻池幸武		浄瑠璃時報	第153号	①昭和11年2月 ③萩野祐仙
					鴻池幸武文楽批評集成		①平成31年2月 ④大阪大学出版会 ③多田英俊＝編著
	文楽座六月興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第349号	①昭和11年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和11年6月四ツ橋文楽座所演
	文楽座六月興行の素人往聴記	劇評	鬼面山		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第350号	①昭和11年7月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和11年6月四ツ橋文楽座所演
	文楽座の人形浄るり	劇評	安部豊		演芸画報	第30年 第9号	①昭和11年9月 ④演芸画報社 ③昭和11年7月東京歌舞伎座所演 (短評)
	文楽座の人形浄瑠璃	劇評	安部豊		演芸画報	第31年 第7号	①昭和12年7月 ④演芸画報社 ③昭和12年6月東京明治座所演 (短評)
	九、文楽座へ復帰 *「朝顔」の『一ツ家』	芸談	鴻池幸武＝編	(1) 吉田栄 三	吉田栄三自伝		①昭和13年11月 ④相模書房 ③昭和23年5月武智鐵二の序等を加え和敬書店より再版。明治37年9月御霊文楽座所演の「摩耶ヶ嶽」について
	十、松竹さんになってから *名古屋への旅						③大正3年7月名古屋御園座公演について
	十三、芸談						③萩の祐仙について
	文楽の寺子屋	劇評	武智鐵二		かりの翅		①昭和16年8月 ④千歳書房 ③昭和44年2月学芸書林より改訂再版。昭和14年5月四ツ橋文楽座所演 (短評)
	文楽座の寺子屋				定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	文楽の寺子屋				近代文藝評論叢書	14	①平成2年10月 ④日本図書センター ③武智鐵二『かりの翅』を収録

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考	
	明治座の文楽	劇評	でん兵衛		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第381号	①昭和14年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和14年8月東京明治座所演	
	明治座の文楽聴観	劇評	安部豊		演芸画報	第33年 第9号	①昭和14年9月 ④演芸画報社 ③昭和14年8月東京明治座所演（短評）	
	津大夫論など	劇評	武智鐵二		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第392号	①昭和15年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和15年6月四ツ橋文楽座所演	
	津太夫論等				かりの翅			①昭和16年8月 ④千歳書房 ③昭和44年2月学芸書林より改訂再版
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊		①昭和54年8月 ④三一書房
					近代文藝評論叢書	14		①平成2年10月 ④日本図書センター ③武智鐵二『かりの翅』を収録
	栄三粗談	評論	内田三千三		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第396号	①昭和16年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和8年7月東京東京劇場所演の (1) 吉田栄三の駒沢次郎左衛門について	
	文楽座人形芝居見物 * 文楽五の替り	劇評	小谷青楓		演芸画報	第35年 第8号	①昭和16年8月 ④演芸画報社 ③昭和16年7月東京新橋演舞場所演	
	鰻谷と新口村	劇評	武智鐵二		浄瑠璃雑誌	第413号	①昭和17年10月 ④浄瑠璃雑誌社 ③昭和17年9月京都南座所演（短評）	
					蜀犬抄			①昭和25年4月 ④和敬書店
					定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊		①昭和54年8月 ④三一書房
152、218、 プ3	名作浄瑠璃解説 生写朝顔話	解説 梗概	(6) 竹本住太夫		文楽浄瑠璃物語		①昭和18年2月 ④正文館書店 ③(6) 竹本住太夫文楽生活年表付載。「宿屋の段・大井川の段」本文と頭注付載	

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
			(9) 竹本文字大夫 (7) 竹本住太夫)・佐藤靄子		六代竹本住大夫		①昭和57年7月 ④青蛙房 ③(6) 竹本住大夫舞台年譜(佐藤靄子=編) 付載。本文と頭注を削除して収録
	文楽座切抜帖(六月) * 順風の文楽座 「朝顔日記」と「壺坂」	劇評	山口廣一		浄瑠璃雑誌	第421号	①昭和18年7月 ④浄瑠璃雑誌社 ③昭和18年6月四ツ橋文楽座所演。 「毎日新聞」より転載
	文楽座の六月	評論	六田甲二		演芸画報	第37年 第7号	①昭和18年7月 ④演芸画報社 ③昭和18年6月四ツ橋文楽座所演
	文楽評切抜帳(七月) * 凡庸の出足	劇評	安藤鶴夫		浄瑠璃雑誌	第422号	①昭和18年10月 ④浄瑠璃雑誌社 ③昭和18年7月東京新橋演舞場所演 (短評)。「東京新聞」より転載
	* 演舞場の文楽		福原麟太郎				③一言。「東京朝日新聞」より転載
	* 文楽の『杖』		三宅周太郎				③一言。「東京毎日新聞」より転載
	朝顔日記(熊沢蕃山、岩田深雪の事)	考証	坂本箕山		戯曲と史実 芝居と史実		①昭和18年8月 ④日比谷出版社 ①昭和22年1月 ④東照堂
	古靱の「宿屋」	劇評	武智鐵二		観照	第1号	①昭和21年8月 ④観照社 ③昭和21年8月四ツ橋文楽座所演
	劇評一束 * 古靱の「宿屋」				歌舞伎の黎明		①昭和30年7月 ④青泉社
	公演評一束 * 古靱の「宿屋」				定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	文楽 夏狂言の数種	鑑賞	佐野清三		幕間	第2巻 第8号	①昭和22年8月 ④和敬書店 ③特集〈歌舞伎文楽夏の趣向競べ〉
	大隅の「志渡寺」など	劇評	白方健太郎		幕間	第2巻 第9号	①昭和22年9月 ④和敬書店 ③昭和22年8月四ツ橋文楽座所演 (一言)
	三味線閑話 一綱造師から「生写朝顔話」を聞く一	芸談	吉永孝雄	(4) 鶴沢綱造	文楽	第2巻 第9号	①昭和22年12月(11・12月合併号) ④誠光社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	八月の関西劇信 幽霊芝居の二の膳つき	劇評	高谷伸		文楽	第3巻 第8号	①昭和23年10月 ④誠光社 ③昭和23年8月京都南座所演
	* 京洛芝居ばなし 前著「演劇手帳」の つづき 二十一 * 京都の芝居 通しの效	劇評	三宅周太郎		続演劇手帳		①昭和24年5月 ④甲文社 ③昭和23年8月京都南座所演
	人形の演出と、その解説 増/補生写朝顔話 四の切 宿屋の段	演出 解説	大西重孝		文楽	第3巻 第9号	①昭和23年11月 ④誠光社 ③昭和23年8月京都南座所演 (3) 吉田文五郎(難波掾)の深雪の型
152、218、 プ3	4 文楽の演出 増/補生写朝顔話 四の切 宿屋の段				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	芝居の中の女性 Ⅷ 運命に流される女 「朝顔日記」の深雪	鑑賞	高岡宣之		歌舞伎の女性		①昭和24年1月 ④新府書房
	歌舞伎百趣 6 生写朝顔日記	解説	堂本寒星		歌舞伎百趣		①昭和24年7月 ④河原書店
カ91	私の芸談 * 「笑楽」の祐仙	芸談	(3) 吉田玉助		幕間	第5巻 第8号	①昭和25年8月 ④和敬書店 ③昭和25年6月四ツ橋文楽座公演に 因んで
	夏狂言特輯 文楽の夏狂言	鑑賞	吉永孝雄				
23、152	生写朝顔話	解説梗概	増田七郎		増補/改訂日本文学大辞 典	第4巻	①昭和25年10月 ④新潮社 ③藤村作＝編纂
カ91、490、 618	幕間随想 * 「朝顔話の宿屋」について	芸談	(8) 竹本綱太夫		幕間	第6巻 第7号	①昭和26年7月 ④幕間和敬書店 ③昭和26年5月四ツ橋文楽座公演に
カ91、490	* 先代写しの深雪		(2) 吉田栄三				
	粒と柄と	劇評	北岸佑吉		舞台展望	第1巻 第2号	①昭和26年8月 ④舞台すがた社 ③昭和26年7月三越劇場所演
	文楽人形用語(四) * 後ぶり	演出	大西重孝/三村幸一 ＝撮影		舞台展望	第7号	①昭和27年1月 ④舞台すがた社 ③朝顔の後ぶり
	3 人形の基本的な型 * 後ぶり		大西重孝		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③大西重孝・吉永孝雄＝解説、三 村幸一＝写真、文楽座＝編。『舞 台展望』第7号より抜粋
	2 人形の基本 人形の型(演技) * 後ろぶり				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽出張興行から	劇評	富田泰彦		舞台展望	第2巻 第9号	①昭和27年9月（10月号） ④舞台すがた社 ③昭和27年9月中座所演（短評）
	幸運の三人	劇評	沼艸雨		幕間	第7巻 第10号	①昭和27年10月 ④幕間和敬書店 ③昭和27年9月中座所演
	文楽人形用語（十三） * コジリ・コジリ六法	演出	大西重孝／三村幸一 ＝撮影		舞台展望	第2巻 第11号	①昭和27年12月 ④舞台展望社 ③駒沢のコジリ
	3 人形の基本的な型 * コジリ・コジリ六方		大西重孝		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③大西重孝・吉永孝雄＝解説、三村幸一＝写真、文楽座＝編。『舞台展望』第2巻第11号より抜粋
	2 人形の基本 人形の型（演技） * コジリ・コジリ六方				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	文楽人形用語（十七） * ツギ足	演出	大西重孝／三村幸一 ＝撮影		舞台展望	第3巻 第4号	①昭和28年4月 ④舞台展望社 ③輪抜けの吉兵衛のツギ足
	2 人形の基本 人形の型（演技） * ツギ足		大西重孝		文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	争う文楽	劇評	沼艸雨		演劇評論	第2巻 （号）	①昭和28年10月 ④演劇評論社 ③昭和28年8月三越劇場所演
	文楽合同公演を聴く	劇評	内海繁太郎		幕間	第10巻 第1号	①昭和30年1月 ④幕間和敬書店 ③昭和29年11月東京東横ホール所演（一言）
	文楽を叱る	劇評	沼艸雨		幕間	第10巻 第7号	①昭和30年7月 ④幕間和敬書店 ③昭和30年6月四ツ橋文楽座所演
	因会文楽の『舞台』と『背景』	劇評	大鋸時生		演劇評論	第3巻 第8号	①昭和30年8月 ④演劇評論社 ③昭和30年6月四ツ橋文楽座所演（短評）
	瓜子姫とあまんじゃく	劇評	塩野谷恵彦		間	第5号	①昭和31年8月 ④名古屋歌舞伎研究会 ③昭和31年4～5月名古屋毎日ホール所演（短評）



上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	亡ぶるからには莊嚴に	劇評	沼艸雨		幕間	第11巻 第8号	①昭和31年8月 ④幕間和敬書店 ③昭和31年7月道頓堀文楽座所演 (短評)
	2 名作の舞台 文耕堂他 増補生写朝顔話	解説 写真	大西重孝・吉永孝雄 ＝著／三村幸一＝写真		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③文楽座＝編
	3 人形の基本的な型 * コジリ・コジリ六方	演出	大西重孝				③初出＝『舞台展望』第2巻第11号 (昭和27年12月・舞台展望社)
	* 後ぶり						③初出＝『舞台展望』第7号(昭和 27年1月・舞台すがた社)
	盛況の若手文楽 「生写朝顔話」	劇評	吉永孝雄		幕間	第14巻 第10号	①昭和34年10月 ④幕間和敬書店 ③昭和34年9月道頓堀文楽座(嫩 会)所演
	芸への熱と素直さの勝利	劇評	内海繁太郎		幕間	第15巻 第9号	①昭和35年9月 ④幕間和敬書店 ③昭和35年7月東京東横ホール所演
力91	生写朝顔話	解説 梗概	浜村米蔵		演劇百科大事典	第3巻	①昭和35年10月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂
	関西の焦点 小間切れの文楽など	劇評	北岸佑吉		演劇界	第19巻 第9号	①昭和36年9月 ④演劇出版社 ③昭和36年7月京都南座所演(短 評)
	でんでん虫五十年 * 切場語り	芸談	(8) 竹本綱大夫		でんでん虫		①昭和39年6月 ④布井書房 ③(7) 豊竹駒太夫の「舟別れ」
	でんでん虫夜話 * 人形の人たち						③吉田多以蔵の駒沢次郎左衛門
	『熊谷陣屋』の競演	劇評	如月青子		演劇界	第22巻 第12号	①昭和39年11月 ④演劇出版社 ③昭和39年10月東京芸術座所演 (短評)
	義太夫国紳士録 * 五世竹本鏝大夫師一当意即妙の士	芸談	(8) 竹本綱大夫		芸談かたつむり		①昭和41年4月 ④布井書房 ③四国巡業のエピソード
	* 七世竹本源大夫師一早口ヨー子						③「笑い葉」について

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	義太夫教室 * 泣き・笑い						③萩の祐仙の笑い
	ぶんらく談話室 * 嫩会思い出の「朝顔」 * 「笑い葉」のむずかしさ	芸談		(3) 吉田簀助 (9) 竹本文字大夫 (7) 竹本住太夫	文楽友の会通信	No.14	①昭和41年7月 ④文楽協会
	関西劇場街探点 文楽の『朝顔』と『熊谷』	劇評	北岸佑吉		演劇界	第24巻 第10号	①昭和41年9月 ④演劇出版社 ③昭和41年7月朝日座所演
	紋十郎と舞台	写真 解説	安藤鶴夫／金子弘＝ 写真		文楽◎桐竹紋十郎		①昭和42年1月 ④求龍堂（限定版） ③深雪。中西敬二郎「二世桐竹紋十郎年譜」を収録
	2 人形の基本 人形の型（演技） * 後ろぶり * コジリ・コジリ六方 * ツギ足	演出	大西重孝		文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社 ③初出＝『舞台展望』第7号（昭和27年1月・舞台すがた社） ③初出＝『舞台展望』第2巻第11号（昭和27年12月・舞台展望社） ③初出＝『舞台展望』第3巻第4号（昭和28年4月・舞台展望社）
	たのしませるといふこと	劇評	安藤鶴夫		演劇界	第26巻 第8号	①昭和43年8月 ④演劇出版社 ③昭和43年7月東京国立劇場小劇場所演
	女、恋の哀れ、母の哀れ	鑑賞	如月青子		朝日座プログラム		①昭和45年6月 ④文楽協会
	七〇年の文楽 一九七〇年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報 文楽 三十世紀後期の輝き—劇評と文楽考—	一九七一年 版	①昭和46年5月 ④早稲田大学出版部 ③昭和45年6月朝日座所演 ①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	浄瑠璃の音楽美 * 浄瑠璃音楽の精髓・「風」	評論	武智鐵二		三島由紀夫・死とその歌舞伎観 定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和46年8月 ④濤書房 ①昭和54年8月 ④三一書房
	関西通信 忘暑の気楽さ	劇評	北岸佑吉		演劇界	第30巻 第9号	①昭和47年8月 ④演劇出版社 ③昭和47年7月朝日座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	七二年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九七三年 版	①昭和48年5月 ④早稲田大学出版部 ③昭和47年7月朝日座所演（短評）
	一九七二年の文楽				文楽 三十世紀後期の輝 き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	演目解説 生写朝顔話	解説	武智鐵二		土門拳 文楽		①昭和47年12月 ④駸々堂出版 ③別冊『土門拳文楽 その背景』 に収録
	文楽演目解説 生写朝顔話				定本・武智歌舞伎	③文楽舞踊	①昭和54年8月 ④三一書房
	宿屋の段・大井川の段				土門拳全集	6文楽	①昭和60年11月 ④小学館 ③〈見所〉は省く
	狂言豆知識 朝顔話ア・ラ・カルト	参考	(類)		国立劇場歌舞伎公演解説 書	第57回	①昭和48年4月 ④国立劇場事業部
	随想 生写朝顔話	随想	横山正				
	「生写朝顔話」をめぐって	随筆	大鋸時生				
	朝顔日記を通しての昔の旅	考証	岸井良衛				
	六章 恍惚の世界 世話物 生写朝顔話	鑑賞	吉永孝雄		カラ—文楽の魅力		①昭和49年1月 ④淡交社 ③三村幸一=写真
	文楽の戦後史 *綱太夫の立場	参考	大西重孝		文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③昭和24年8月記。(3) 鶴沢清六 の「浜松」の段切
	手摺 三 時代物=通し狂言 生写朝顔話	解説	山田庄一		文楽 人形の美学		①昭和49年10月 ④毎日新聞社 ③森晋六・榎本由喜雄・山田庄 一・佐藤鉄彌=編集/林嘉吉=写 真
	怪奇もの (二二) 葬日記(朝顔日記)の実説 附 駒沢次郎左衛門の伝	実説	荒川秀俊		江戸の実話	1<実事譚> の世界	①昭和51年5月 ④桃源社 ③桃源社新書
	文楽名作鑑賞 生写朝顔話	解説 梗概	山田庄一		文楽入門		①昭和52年6月 ④文研出版 ③文研の芸能鑑賞シリーズ
					文楽		①平成2年1月 ④ぎょうせい ③伝統芸能シリーズ3。『文楽入 門』の改訂版

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
300	鑑賞ガイド 『生写朝顔話』の成立	鑑賞 研究	(Y) 土田衛		国立劇場文楽公演解説書	第45回	①昭和53年5月 ④国立劇場事業部
	見せ場がたっぷり	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝 き一劇評と文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和53年5月東京国立劇場小劇場 所演。初出＝「読売新聞」昭和53 年5月17日
	文楽の〈朝顔話〉	劇評	内山美樹子		演劇界	第36巻 第7号	①昭和53年7月 ④演劇出版社 ③昭和53年5月東京国立劇場小劇場 所演
					文楽 二十世紀後期の輝 き一劇評と文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	笑い三年泣き八年と笑い薬	芸談		(9) 竹本文 字大夫 (7) 竹本 住太夫)	朝日座プログラム		①昭和54年7月 ④文楽協会
	この公演に登場する人物の紹介	解説	吉永孝雄				
	関西劇信 *さまざまな舞台構成	劇評	大鋸時生		演劇界	第37巻 第9号	①昭和54年8月 ④演劇出版社 ③昭和54年7月朝日座所演（短評）
	チャリ場「笑ひ薬」の楽しさ	鑑賞	大鋸時生		「上方芸能の神髓」公演 パンフレット		①昭和55年2月 ④（社）日本芸能実演家団体協議 会
					上方芸能	66号	①昭和55年6月 ④『上方芸能』編集部
	インタビュー 吉田蓑助 この一年	芸談	小倉つね子＝記録	(3) 吉田蓑 助	文楽	第1号	①昭和58年2月 ④「文楽」編集部 ③深雪について
	新鮮な人物造形「守宮酒」	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝 き一劇評と文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和58年9月東京国立劇場小劇場 所演（短評）。初出＝「読売新 聞」昭和58年9月3日
	文楽劇信 *通しが期待される『苅萱』	劇評	富岡泰		演劇界	第41巻 第11号	①昭和58年10月 ④演劇出版社 ③昭和58年9月東京国立劇場小劇場 所演
	桐竹勘十郎 この一年	芸談		(2) 桐竹勘 十郎	文楽	第2号	①昭和59年2月 ④「文楽」編集部 ③萩の祐仙について

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	もう一人の親 * 喜左衛門師匠 (三)	芸談	高木浩志	(4) 竹本越路大夫	四代竹本越路大夫		①昭和59年3月 ④淡交社 ③ (2) 野沢喜左衛門の「大井川」の稽古
	生写朝顔話	解説 梗概	菊池明		日本古典文学大辞典	第3巻	①昭和59年4月 ④岩波書店
	生写朝顔話の作者と趣向 「ゆかりの地」あれこれ	解説 史跡	吉永孝雄 田結莊哲治		国立文楽劇場文楽公演解説書	第2回	①昭和59年6月 ④国立劇場
	文楽劇信 * 課題を残す若手公演	劇評	富岡泰		演劇界	第42巻 第9号	①昭和59年8月 ④演劇出版社 ③昭和59年6月国立文楽劇場所演
	竹本文字大夫 この一年	芸談		(9) 竹本文字大夫 (7) 竹本住太夫	文楽	第3号	①昭和60年2月 ④「文楽」編集部 ③「宿屋」
	九、父住大夫のこと * 父の浄瑠璃	解説	(7) 竹本住大夫・和多田勝		文楽説き語り 言うて暮しているうちに		①昭和60年4月 ④創元社 ③頭注部分に解説あり
	文楽の名作 九一 江戸版「君の名は」のすれ違い 『生写朝顔話』	鑑賞	権藤芳一		文楽の世界		①昭和60年6月 ④講談社
	第一章 『一谷嫩軍記』三の切・熊谷陣屋の段 九「時刻移ると(一九の29)～泣く音血を吐く思ひなり(二七の24)」	芸談	(4) 竹本津大夫・津大夫を困む研究会	(4) 竹本津大夫・竹沢団七	四世竹本津大夫芸話		①昭和61年7月 ④白水社 ③日本芸能セミナー文楽の音楽第一部。「摩耶が嶽」
	イヌ年は当たり年	芸談	田結莊哲治	(2) 吉田玉五郎	文楽 人形の魅力		①昭和61年8月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス66。深雪で大阪市文化功労賞 ③琴手
	桐竹紋壽・吉田文吾リサイタル	芸談		桐竹紋壽・(5) 吉田文吾	文楽	第5号	①昭和62年2月 ④文楽編集部 ③昭和61年10月20日国立文楽劇場所演のリサイタルについて
	Ⅲ音で楽しむ名曲の数々 3楽しいチャリ場	鑑賞	茂手木潔子		文楽 声と音と響き		①昭和63年1月 ④音楽之友社 ③「笑ひ葉」
	9筆の音色						③「宿屋」
	第二話 入門まで * 源大夫は名人やけど	芸談	(5) 竹本織大夫 (9) 竹本源太夫・高木浩志		織大夫夜話 文楽へのいざない		①昭和63年7月 ④東方出版 ③「大井川」

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第四話 端場 生写朝顔話・笑葉						
	露のひめ間の朝顔 無念なのに笑いたくなる祐仙のおかしみを……	研究 芸談	脇田修 川崎一朗	桐竹紋壽	国立文楽劇場文楽公演解 説書	第31回	①平成1年7月 ④国立劇場
	「ゆかりの地」あれこれ やはり住大夫・燕三の「宿屋」	史跡 劇評	田結荘哲治 藤井康雄		演劇界	第47巻 第9号	①平成1年8月 ④演劇出版社 ③平成1年7月国立文楽劇場所演
490	1年間の舞台から一鑑賞の手引きとして *『生写朝顔話』宿屋の段	芸談	富岡泰	(5) 鶴沢燕 三	文楽	第8号	①平成2年2月 ④「文楽」編集部 ③「宿屋」について
	*『生写朝顔話』朝顔		吉村暢子	(3) 吉田襄 助			③朝顔について
	チャリ場と笑い葉の祐仙 三枚目の人形と笑い葉の祐仙			豊竹咲大夫 (3) 吉田玉 松			③昭和59年6月4日国立文楽劇場主 催『第2回文楽のつどい』における 芸話を文章化
	「楠昔噺」の十九大夫が好調	劇評	福本和生		演劇界	第48巻 第8号	①平成2年7月 ④演劇出版社 ③平成2年5月東京国立劇場小劇場 所演（短評）
	疑問の多い長局など	劇評	矢野輝雄		歌舞伎 研究と批評	6	①平成2年12月 ④リポート ③歌舞伎学会＝編。平成2年5月東 京国立劇場小劇場所演
	1年間の舞台から *『生写朝顔話』宿屋の段	芸談	吉村暢子	(8) 竹沢団 六 (7) 鶴 沢寛治)	文楽	第9号	①平成3年2月 ④「文楽」編集部 ③「宿屋」について
	第一章 入門 * 杖でたたかれ	芸談	(3) 吉田襄助		頭巾かぶって五十年		①平成3年8月 ④淡交社 ③淡路の人形遣い ③昭和34年9月の嫩会
	第二章 襲名 * 嫩会						③「宿屋」の朝顔
	襲助の世界	グラビア	青木信三＝写真				③「宿屋」の朝顔
	第三章 襲助の世界 * 人形の色気	芸談	(3) 吉田襄助				③深雪の三つ指し
	* 女方の人形の型						③深雪のち朝顔
	* 文楽に生きる女たち						
	第一部 浄瑠璃史をめぐって 第八章 文楽と地方の人形芝居－淡路と 伊那谷の場合	研究	向井芳樹・山田和人		浄瑠璃の世界		①平成4年6月 ④世界思想社 ③阪口弘之＝編

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	義太夫節の楽しみ方	芸談	安土政夫＝構成・文	(7) 竹本住 大夫・(5) 鶴沢燕三	別冊太陽 日本のこころ	No.80 文楽	①平成5年1月 ④平凡社 ③(6) 竹本住太夫の稽古 ③阪口弘之＝編
	文楽名作案内 生写朝顔話	解説	林久美子				
	義太夫の「風」 * 染太夫の風	芸談	井野辺潔	豊竹咲大夫	文楽談義一語る・弾く・ 遣う		①平成5年8月 ④創元社 ③井野辺潔＝監修、義太夫研究会 ＝編著。重太夫風の「宿屋」 ③「大井川」の深雪
	嘘を真らしく * 掛け声いろいろ		茂手木潔子	(3) 吉田襄 助			
	深雪「生写朝顔話」	芸談	山川静夫	(3) 吉田襄 助	文楽の女 吉田襄助の世 界		①平成6年3月 ④淡交社 ③青木信二＝写真。平成28年8月新 書版刊
	深雪の純情 —「生写朝顔話」随想—	随想	脇田晴子		国立文楽劇場文楽公演解 説書	第55回	①平成6年7月 ④日本芸術文化振興会 ③「宿屋」について
	豊竹嶋大夫にきく	芸談	森西真弓	(8) 豊竹嶋 大夫			
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結荘哲治				
	玉男・襄助の視線の深さ	劇評	宮辻政夫		演劇界	第52巻 第10号	①平成6年9月 ④演劇出版社 ③平成6年7～8月国立文楽劇場所演
	義太夫の格が備わった住大夫の語り	劇評	宮辻政夫		上方芸能	120号	①平成7年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成6年7～8月国立文楽劇場所演
	第三部 名作の鑑賞 時代物 生写朝顔話	鑑賞	藤田洋・森西真弓		文楽ハンドブック		①平成6年12月 ④三省堂 ③平成15年3月改定版、平成23年2 月第3版
	文楽のかしらシリーズ㉕ 「祐仙」	鑑賞	吉田文雀＝解説／飯 村隆＝撮影		国立劇場文楽公演解説書	第111回	①平成7年5月 ④日本芸術文化振興会
	「朝顔宿屋」彫りの深い演技	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝 き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③平成7年5月東京国立劇場小劇場 所演（短評）。初出＝「読売新 聞」平成7年5月17日
	「宿屋」が最上の出来栄え	劇評	福本和生		演劇界	第53巻 第8号	①平成7年7月 ④演劇出版社 ③平成7年5月東京国立劇場小劇場 所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	究極の座談会 三業一昧の妙	座談会	水落潔＝司会	(7) 竹本住 大夫、(5) 鶴沢燕三、 (1) 吉田玉 男	文楽入門 鑑賞へのいざ ない		①平成7年6月 ④淡交社 ③淡交ムック。水落潔＝指導、青 木信二＝写真。駒沢と岩代
	文楽見どころ聞きどころ 生写朝顔話	鑑賞	廓正子				
	吉田簀太郎にきく	芸談	森西真弓	吉田簀太郎 ( (3) 桐竹 勘十郎)	国立文楽劇場文楽公演解 説書	第71回	①平成10年7月 ④日本芸術文化振興会 ③萩の祐仙について
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結荘哲治				
	光る簀太郎の祐仙	劇評	田結荘哲治		演劇界	第56巻 第10号	①平成10年9月 ④演劇出版社 ③平成10年7～8月国立文楽劇場所 演
	力量を示した簀太郎の祐仙	劇評	宮辻政夫		上方芸能	131号	①平成11年1月 ④『上方芸能』編集部 ③平成10年7～8月国立文楽劇場所 演
	文楽はより文楽らしく――一九九八年下半 期の文楽一	劇評	権藤芳一		歌舞伎 研究と批評	23	①平成11年6月 ④歌舞伎学会 ③平成10年7～8月国立文楽劇場所 演（劇評と、大井川の演出にも触 れる）・9月東京国立劇場小劇場所 演
	司馬芝叟のこと	参考	多治比郁夫		国立劇場文楽公演解説書	第124回	①平成10年9月 ④日本芸術文化振興会
	『合邦』の鮮烈な清治の芸	劇評	福本和生		演劇界	第56巻 第11号	①平成10年10月 ④演劇出版社 ③平成10年9月東京国立劇場小劇場 所演
	文楽の物語 おすすめ文楽演目 * 生写朝顔話	解説	井上由理子		はじめての歌舞伎、文楽、 能、狂言 古典芸能楽々 読本		①平成11年1月 ④アートダイジェスト ③平成18年5月改訂版
	第一章 わが愛しの文楽 朝顔日記タイタニック説一生写朝顔話	随筆	広谷鏡子		恋する文楽		①平成11年9月 ④洋泉社
	シリーズ・文楽まめ知識③ 箏・胡弓・八雲・タカネ	参考	高木浩志		国立劇場文楽公演解説書	第134回	①平成13年2月 ④日本芸術文化振興会
	文楽まめ知識 箏・胡弓・八雲・タカネ				文楽に親しむ		①平成27年4月 ④和泉書院



上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽の名作ダイジェスト 『生写朝顔話』	鑑賞	阿部俊夫		NHK 日本の伝統芸能		①平成13年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門Ⅷ
	南座文楽、「宿屋」が秀逸	劇評	坂東垂矢子		演劇界	第59巻 第10号	①平成13年8月（9月号） ④演劇出版社 ③平成13年7月京都南座所演
	三、文楽合同 * 艦と棹	芸談	桐竹紋壽		文楽・女方ひとすじ お つるから政岡まで		①平成13年9月 ④東方出版 ③「船別れ」の船頭
	第六章 簗太郎先生おすすめの文楽 「笑い葉」の段	解説	小野幸恵	吉田簗太郎 （3）桐竹 勘十郎	吉田簗太郎の文楽		①平成14年3月 ④岩崎書店 ③日本の伝統芸能はおもしろい ⑤。吉田簗太郎（3）桐竹勘十 郎）＝監修
	第一章 中国戯曲から「生写朝顔話」へ の流れと周縁 第二章 『朝顔日記』と『桃花扇』 第三章 長話「葬」と読本『朝顔日記』 第六章 浄瑠璃本『増/補生写朝★（白の 下にハ）話』の成立とその時代—山田案 山子と近松狂言堂、文楽翁の浄瑠璃制 作— 第三部 歴史研究 第二章 『増/補生写朝★（白の下にハ） 話』の成立とその時代	研究	内山美樹子 川浩二 今岡健太郎 神津武男		「朝顔日記」の演劇史的 研究—「桃花扇」から 「生写朝顔話」まで—  浄瑠璃本史研究		①平成15年1月 ④「朝顔日記」の会 ③文部科学省フロンティア事業 「アジア地域文化に関する共同研 究」 ③寛政以後の初演作品年表・「宿 屋」「大井川」の通し本と各種抜 き本との対校を付載  ①平成21年2月 ④八木書店
618	第七章 人形浄瑠璃「生写朝顔話」上演 史 第八章 二十世紀中・後期（一九五七～ 九五）の文楽「生写朝顔話」	研究	飯島満 内山美樹子		「朝顔日記」の演劇史的 研究—「桃花扇」から 「生写朝顔話」まで—		①平成15年1月 ④「朝顔日記」の会 ③上演年表を付載
	シリーズ・文楽まめ知識⑫ 人形の型 文楽まめ知識 人形の型	参考	高木浩志		国立劇場文楽公演解説書 文楽に親しむ	第143回	①平成15年5月 ④日本芸術文化振興会 ①平成27年4月 ④和泉書院
	第六章 昔っから浄瑠璃らしい演目です わ 『生写朝顔話◎宿屋の段』なんべん演っ てもむつかしいのが枕です	芸談	(7) 竹本住大夫		文楽のこころを語る		①平成15年8月 ④文藝春秋 ③七世竹本住大夫略年譜（山本千 恵子＝構成）付載。平成21年1月文 庫版

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	劇場必携演目ダイジェスト24 生写朝顔話	あらすじ	松平盟子		劇場に行こう 文楽にア クセス		①平成15年10月 ④淡交社
	名作紹介 生写朝顔話	解説	江南真理		物語で学ぶ日本の伝統芸 能	4文楽	①平成16年4月 ④くもん出版 ③平島高文＝監修
618	文楽・知識の泉④	解説 演出	高木浩志		国立文楽劇場文楽公演解 説書 文楽に親しむ	第95回	①平成16年7月 ④日本芸術文化振興会
	時代物・世話物・景事物 文楽を味わう一助になれば 生写朝顔話						①平成27年4月 ④和泉書院 ③「文楽・知識の泉④」を中心に 加筆
	白い、夏の文楽	劇評	亀岡典子		演劇界	第62巻 第14号	①平成16年9月（10月号） ④演劇出版社 ③平成16年7～8月国立文楽劇場所 演
	夏の夜は寂しくも熱く	劇評	片山剛		上方芸能	154号	①平成16年12月 ④『上方芸能』編集部 ③平成16年7～8月国立文楽劇場所 演
	最終章 人間の心底を描き続ける文楽の 世界 *魅力的な敵役	鑑賞	亀岡典子		文楽ざんまい		①平成17年6月 ④淡交社 ③秋の祐仙
	時代物 生写朝顔話	鑑賞	高木秀樹＝著／青木 信二＝写真		あらすじで読む 名作文 楽50		①平成17年7月 ④世界文化社 ③ほたるの本。平成27年9月加筆再 構成した新版刊
	名作文楽50 生写朝顔話				文楽手帖		①平成26年8月 ④KADOKAWA ③角川ソフィア文庫。『あらすじ で読む 名作文楽50』を加筆修正 のうえ再構成したもの
	近世後期淡路座の人形浄瑠璃一『敵討肥 後駒下駄』の成立一 四 素材その二、浄瑠璃『箱根靈験壁仇 討』『生写朝顔話』 附『生写朝顔話』 五段目の成立について	研究	久堀裕朗		説話論集	第15集 芸能と説話	①平成18年1月 ④清文堂出版 ③説話と説話文学の会＝編。『生 写朝顔話』が与えた影響及び『生 写朝顔話』五段目の成立に関する 問題点について
	伝承・表現・鑑賞	鑑賞	高木浩志		国立文楽劇場邦楽公演解 説書	第28回	①平成18年4月 ④日本芸術文化振興会

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第一章 愛の絆 * 生写朝顔話 宿屋の段／大井川の段	鑑賞	葛西聖司		文楽のツボ		①平成18年5月 ④日本放送出版協会 ③生活人新書182
	燕三襲名の『ひらかな盛衰記』	劇評	福本和生		演劇界	第64巻 第11号	①平成18年7月（8月号） ④演劇出版社 ③平成18年5月東京国立劇場小劇場 所演（短評）
	文楽歴史散歩	史跡	田結莊哲治		文楽地方公演プログラム		①平成19年9月 ④文楽協会 ③平成20年3月地方公演プログラム に再掲
	司馬芝叟…上方の「ながばなし」、毒舌 の学者を父に持つということ	研究	塚原東吾		国立文楽劇場文楽公演解 説書	第115回	①平成21年7月 ④日本芸術文化振興会
	嵐の迫力存分に	劇評	宮辻政夫		演劇界	第67巻 第10号	①平成21年10月 ④演劇出版社 ③平成21年7～8月国立文楽劇場所 演
	真夏の夜の夢は半ばに	劇評	森田美芽・片山剛		上方芸能	174号	①平成21年12月 ④『上方芸能』編集部 ③平成21年7～8月国立文楽劇場所 演
	祐仙 生写朝顔話 笑葉	解説 芸談	青木信二・小川知 子・出上実＝写真/ 高木浩志＝文	桐竹紋壽	文楽人形之美 桐竹紋壽 写真集		①平成22年6月 ④草場書房
	巡業では博多座だけ 人間国宝勢揃いの 凄い座組 ユニークな狂言建て	鑑賞	高木浩志		博多座文楽公演プログラ ム		①平成22年12月 ④博多座
	浄瑠璃五段構成の衰微と淡路座	研究	久堀裕朗		文学	第12巻 第2号	①平成23年3月 ④岩波書店 ③特集〈人形浄瑠璃・文楽のこと ばへ〉
	簗助の朝顔に感涙	劇評	福本和生		演劇界	第69巻 第7号	①平成23年7月 ④演劇出版社 ③平成23年5月東京国立劇場小劇場 所演（短評）
	地図でたどる文楽「生写朝顔話」。	鑑賞			文楽地方公演プログラム		①平成25年9月 ④文楽協会 ③平成26年3月地方公演プログラム に再掲
	生写朝顔話の舞台 文楽入門 ある古書店主と大学生の会話 ②～生写朝顔話～	参考 入門	久堀裕朗		国立文楽劇場文楽公演解 説書	第139回	①平成27年7月 ④日本芸術文化振興会

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	『生写朝顔話』を第2、3部で	劇評	亀岡典子		演劇界	第73巻 第10号	①平成27年9月（10月号） ④演劇出版社 ③平成27年7～8月国立文楽劇場所演
	遊びと学びの関係	劇評	福本のりこ		上方芸能	198号	①平成27年12月 ④『上方芸能』編集部 ③平成27年7～8月国立文楽劇場所演
	技芸員にきく 桐竹勘十郎	芸談		(3) 桐竹勘十郎	国立劇場文楽公演解説書	第200回	①平成29年9月 ④日本芸術文化振興会
	かしらのいろいろ 上演作品への招待	写真 鑑賞	児玉竜一				
	勘十郎、昼夜に活躍	劇評	富岡泰		演劇界	第75巻 第11号	①平成29年10月（11月号） ④演劇出版社 ③平成29年9月東京国立劇場小劇場所演
	3章 勝手に決定！TOP5 クズ男& キャラ立ち女 パーチャルインタビュー * 深雪 『生写朝顔話』より	入門	上島カンナ=マンガ / 文楽協会=協力		マンガでわかる文楽		①平成31年3月 ④誠文堂新光社 ③佳山泉=執筆協力、人形浄瑠璃 文楽座=協力
	ビジネスで大事なことは今も昔も変わらない。 名作から学ぶ、ここぞの処世術 生写朝顔話	鑑賞			ビジネスパーソンのための 文楽のすゝめ		①令和1年12月 ④実業之日本社 ③（6）竹本織太夫=監修
	『生写朝顔話』宿屋の段	解説 あらすじ	久堀裕朗		国立文楽劇場邦楽公演解説書	第42回	①令和2年8月 ④日本芸術文化振興会